

QI	クリニカルパス運用率
分子	一入院過程でパスの運用が一つ以上された患者数
分母	退院患者数
根拠	日本クリニカルパス学会での全国集計にも使われている指標で、学会ではパス使用割合という名称を用いているが、同様な指標となっている。
目標	60% 医療者によるばらばらな医療が提供されては安定した良い結果は得られません。標準的な計画を用いて医療を提供すると同時に、病態の変化に応じて早期に適切な対応をすることが質の高い医療と考えられ、医療の質は、標準医療への準拠の程度によって測定されるとも言われています。クリニカルパスは患者の状態と診療行為の目標、および評価・記録を含む標準診療計画であり、このようなクリニカルパスが運用されることが医療の質につながります。2020年度日本クリニカルパス学会アンケート結果では全国平均は44%ですが、当院では60%を目標とします。

